

市長記者会見

令和4年2月1日(火)

(NHK) よろしくお願ひします。では、まず市長のほうから報告事案等お願ひします。

(上定市長) よろしくお願ひします。今日は6項目用意しておりますので、順次説明してまいります。

まず1点目、新型コロナウイルスワクチンの追加、3回目接種についてです。2月1日から65歳以上の一般の高齢者の方を対象とした3回目接種を開始しています。現在のワクチン接種の状況、接種可能となる時期の目安などについてお知らせします。3回目接種が12月6日からスタートしております。接種対象は、医療従事者、高齢者施設等の入所者と従事者で、今日時点で人口に対しての接種率が2.7%です。3回目接種の時期の目安は、医療従事者は2月中旬までで調整をしています。接種間隔の前倒しを行い、高齢者施設の入所者、従事者が2月末まで、65歳以上の方が3月末まで、そして18歳から64歳までの方が6月末までの完了を見込んでいます。接種者数の見込みですが、医療従事者8,700人、高齢者等施設の入所者・従事者が7,000人、65歳以上と18歳から64歳の方については3月までに集団接種、個別接種それぞれ3万3,000人。そして4月以降6万4,300人を調整中で、合わせて14万6,000人の方が6月までに接種を終えられるよう準備を進めています。接種会場と予約方法については、集団接種は、2月1日から松江市立病院のがんセンターで平日の開催が主ですが、開始しております。また、くにびきメッセで2月3日からの接種が可能で、こちらは土日も対応しております。また鹿島町、島根町、美保関町、八雲町でも集団接種会場を設けます。予約は、従来どおりWEBと電話の両方できます。個別接種は、市内の108の医療機関で2月14日から可能となりますので、2月1日以降それぞれの病院や診療所が定める方法で予約をしてください。使用するワクチンは、2月から3月の下旬までは集団接種はモデルナ社製、個別接種はファイザー社製を予定しています。3回目の接種で使用するワクチンは、1、2回目に接種したワクチンの種類にかかわらずファイザー社またはモデルナ社製とするということが国の方針として示されています。なお、ファイザー社製については1、2回目と同じ接種量、モデルナ社製については半分の量での接種となります。1、2回目と異なるワクチンを用いて3回目の接種を行っても、安全性の面では許容され、抗体値が十分に上昇するということが厚生労働省より報告されております。接種券をお送りする際に厚生労働省が作成した資料も同封していますので、ぜひご確認ください。安全性と効果についてご理解とご検討いただき、接種を希望される方は接種が可能となる時期になりましたら、ご予約をいただければと考えています。これまでもお伝えしていますが、ワクチン接種は強制ではありません。接種による感染症予防の効果と副反応のリスクなどを理解した上で、自らの意思で判断してください。また、接種を希望されない方や病気・アレルギーなどの理由で接種ができない方に、接種の強制や差別的な扱い、あるいは偏見等を持つことが決してないように、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

2点目、経済産業省への要請についてです。島根原発2号機の再稼働に関して、本日、経済産業省に対し「使用済燃料が島根原発内に保管され続けることのないよう、早期の搬出に向けて国が責任を持って取り組むこと」といった内容の要請を行いました。この要請の背景は、使用済燃料についてはこれまでも経済産業省に対して求めてきており、この度、文書で正式に要請を行いました。なお、この使用済燃料の問題は、島

根原発の再稼働の有無にかかわらず、国が取り組むべき事項と認識しています。国からの回答の時期が明らかになりましたら、お知らせします。

3点目は、(仮称)中海スポーツパークの整備計画についてです。平成30年度に中海の湖畔の上宇部尾町に国の交付金を活用し、多目的広場の整備を計画していましたが、国から採択されなかったという経緯があります。スポーツ振興あるいは健康づくりを推進する場についての再検討を行い、国と協議を進めています。事業の概要ですが、(仮称)中海スポーツパークとし、スポーツに親しめる多目的広場として、人工芝のグラウンドの整備を考えています。施設の規模は、サッカーの公式戦を開催できるピッチサイズを確保した上で、附帯施設として防球ネット、管理棟、倉庫付きのトイレ、駐車場、ナイター照明などを整備し、例えばグラウンドゴルフなどにも利用できるようにと考えています。総事業費は7億5,200万円を見込んでいます。財源として、防衛省の補助金を活用できるよう国と協議を進めています。事業期間は令和4年から6年度の3か年、令和4年度に実施設計、令和5、6年度に整備工事を行い、令和7年4月のオープンを目指しています。ただ、まだ協議段階でして、4月に採択の可否が決定しましたら、改めてご報告します。

4点目は、「松江市消防団充実強化計画」のパブリックコメントの募集についてです。消防団員の方々には、職業として消火や救命を行う消防士あるいは消防署と異なり、他の仕事を持ちながら、災害時には非常勤特別職の公務員という身分で、自らの地域は自らで守るという精神に基づいて活動いただいております。昨年4月の島根町加賀での大規模火災や7月、8月の豪雨災害でもご活躍いただき、市民を守る非常に重要な存在です。しかしながら、団員数の減少や平均年齢の上昇などの問題を抱えています。今後も消防団が地域防災の要として活動できる組織体制づくりを目的に、新たな計画の策定を進めています。策定に当たり、消防団員や市民の皆さまを対象としたアンケート調査、また学識経験者からの意見をいただき、2つ課題が見えてきました。1つ目が、団員の確保ができないことです。団員の減少や高齢化、「消防団は必要だが自分が入団することは考えていない」という意見も多くありました。2つ目は、平日の昼間の防災力の確保が難しいことです。消防団員の多くがふだん働いておられることから、平日の昼間に出勤するのは困難という意見を多数いただいております。これらの課題に対し、「透明性の高い処遇改善」や「団員の負担軽減につながる仕組み」などの改革が必要という認識から、充実強化に向けた5つの取り組みをまとめました。まず、1つ目が消防団組織の再編についてです。団員数の維持や平日、昼間の防災力確保するため、団員が集まりやすく迅速な出動体制を維持できるよう、近隣の班と統合するなど必要に応じた組織の再編を行います。2つ目が班の統合による消防機庫や装備の機能の強化です。消防団組織の再編を進めることによって、保有する装備等の選択肢を増やし充実を図ります。3つ目が団員の確保です。消防団の認知度の向上や団員確保に向けた広報の実施、職場の理解と協力を得るための施策の検討、災害初期の対応に特化した団員の検討などを行います。4つ目は平時の消防団活動として出初め式や消防操法大会など団員が負担と感じる訓練の実施方法や、災害時にすぐに活用できる訓練の実施などを検討します。5つ目が処遇の改善です。報酬の支給方法や報酬の額についての検討を行います。これらの5つの取り組みにより、消防団員が将来にわたって活動しやすい環境、そして消防団が市民の皆様の期待に応えられることを目指します。今回のパブリックコメントは、広く消防団に関するご意見をいただき計画策定につなげたいと考えています。期間は2月17日までとしており、ご意見の提出につきましては、消防総務課の消防団室までお願いします。

5点目、キャッシュレス決済の導入についてです。2月1日からキャッシュレス決済を導入いたします。山陰合同銀行と合銀クレジットのご協力により実現しており、まずはお礼を申し上げます。市役所1階の市民課証明発行窓口を設置しており、クレジットカード、電子マネーに対応しております。コード決済につきましては現在準備中ですが、順次導入する予定です。タッチレス決済により現金の授受が不要となりますので、新型コロナウイルス感染症対策にも有効であると考えています。ぜひ各種証明書発行に際してはご利用ください。

最後に、所得税の確定申告についてです。本年もくにびきメッセを会場に、2月16日から3月15日まで確定申告の受付が行われます。市民の皆さまには、新型コロナウイルス感染症予防、拡大の防止の観点から、できるだけご自宅からe-Taxを利用して申告を行っていただきたいと考えています。マイナンバーカードとスマートフォンを利用して、自宅からいつでも手軽に申告ができますので、マイナンバーカードをまだ取得されていない方は、ぜひともこの機会に取得いただければと考えております。特に、今年からはスマートフォンによる申告がさらに便利になったとお聞きしております。本日は松江税務署から小山広報官にお越しいただいておりますので、タブレットでの申請書の作成について、実際に体験してみたいと思います。

(小山広報官) 松江税務署の小山と申します。これから市長に年末調整済みの給与所得を有する方が松江市にふるさと納税をしたという内容で申告書を作成していただきます。e-Tax申告するメリットは、所得税の還付金が書面提出より早く還付されること、自宅からいつでも手軽に申告できること、添付書類の提出や提示を省略することができることなどで、大変便利となっています。それでは市長、よろしく願いいたします。

(上定市長) 源泉徴収票をスマホのカメラで読み取ると、金額と支払い者の情報等が入力できたり、自動で税額まで計算されますし、入力も簡単だということがよく分かりました。私もe-Taxを利用して確定申告しようと思います。市民の皆さんも、ぜひマイナンバーカードも取得した上でチャレンジしてみてください。

私からは以上となります。

(NHK) ありがとうございます。まず、新型コロナウイルスのワクチン接種に関してですが、国から子ども向け接種の説明があったと聞いていますが、この中で早ければ3月頃から接種が可能になると示されたとのことですが、市としての方針はいかがですか。

(上定市長) 具体的にいつからということまでは見越していません。詳細について国の厚生科学審議会2月の下旬又は中旬に審議されると聞いていますので、早ければ3月頃から接種が可能ということもあり得ると考えています。それを見越して接種を希望する小児の方の接種を開始できる準備を今後進めてまいります。

(NHK) ワクチンの供給があれば始められるような形にはなっていますか。

(上定市長) 1月末に示されたワクチンの供給量に基づき今後のワクチン接種を進めていくこととなりますので、必要量を確保することが前提となりますので、国の動きを注視していく必要があると感じております。

(NHK) 松江市役所においてキャッシュレス決済導入は今回が初めてになりますか。

(上定市長) はい、初めてです。

(NHK) 市民課以外の窓口でキャッシュレス決済を導入できそうな部署がありますか。

(上定市長) 今日から始めるところですので、市民の皆さんにどれぐらい利用いただけるかなどを確認した上で、必要に応じて機器を増設することも考えたいと思っています。

(NHK) 中海スポーツパークですが、完成イメージ図と地図を拝見して、なかうみスカイポートではと思いま

すが。

(上定市長) なかうみスカイポートの隣になります。

(NHK) スカイポートも運営会社が運航をやめられている経緯がありますが、アフターコロナを見据えて何か戦略をお持ちでしょうか。

(上定市長) この周辺エリアの活用の可能性については、全体として考えていきたいと思っています。今、具体的なアイデアが何かあるわけではありませんが、今回の計画がうまく進めば、それに即した形で考えていきたいと思っています。

(NHK) 原発の関係ですが、昨日市民団体の方が直接請求に訪れられました。市長としてどのような意見を付けて議会に条例案提出されるのか考えはまとまりましたでしょうか。

(上定市長) 特段の進展はありませんが、今回住民投票条例の制定請求を正式にいただきましたので、真摯に受け止めて検討を進めてまいります。

(NHK) その際、市長が判断する際に、何を一番重視されますか。

(上定市長) 一番これをというわけではなく、やはり総合的な判断が求められていると感じます。今回の、経済産業省に対する要請というのも一つの要素になります。

(NHK) 今回の要請に対する返答はこれからという形ですね。

(上定市長) そうですね。

(NHK) 直接請求から期間が決まっていますが、返答がなかった場合は、それが判断材料にはならなくなりますが、その点はいかがですか。

(上定市長) 住民投票条例の制定についての請求をいただいたことについての判断をしていくということになりますし、また島根原発2号機の再稼働についての判断ということにもなります。最終的に原発の再稼働についての判断を下すに当たって、この要素も非常に大きな判断材料になるという認識です。

(NHK) 事前了解のタイミングですが、今月末には2月議会も始まり、年度末も迫っています。改めて最終的な判断を年度内には下すべきだという考えなのか、来年度、2期目への宿題というお考えなのか、いかがですか。

(上定市長) 昨年9月に経済産業省から原発の再稼働についての理解を求められ、その後住民説明会、議会、安対協といったところで議論を進め、経済産業省に対する確認、事業者側の安全安心に向けた取り組み、信頼の回復、そういったことが全て判断材料となると考えています。そういった一通りの判断できる材料が整った上で、総合的に私の判断を下したいと思っていますので、例えば年度内ということが明言できるものではなく、状況を見ながら判断の心証を形成していきたいと考えています。

(山陰中央新報) 経済産業省への要請についてですが、9月にエネ庁の長官とのオンライン面談のときにも使用済燃料に関して要請されていると思いますが、改めて今回文書で要請された狙いは何ですか。

(上定市長) 9月16日に資源エネルギー庁の保坂長官とのオンラインの面談の際に、島根原発に留め置かれている燃料についての早期搬出を含めて責任持って取り組んでいただきたいと申し上げました。一方で9月に経済産業省から松江市に対して依頼があり、再稼働の判断をするに当たって確認をする必要があると考え、今回書面の形で要請を行いました。

(山陰中央新報)このエネ庁の長官との面談後、経産省からの回答はまだということでしょうか。

(上定市長)今のところ回答はまだですので、今回申し入れを行い回答がいただけるものと思っていますが、その時期については未定です。

(山陰中央新報)今後再稼働の可否判断をしていく上で判断材料の一つとしてこうした使用済燃料の問題もあると思うので、そこを市として今回要請されたという形ですか。

(上定市長)そのとおりです。

(山陰中央新報)現在、島根原発に使用済燃料が保管されている状況についてはどのように受け止めていますか。

(上定市長)使用済燃料がそのまま留め置かれる状況は好ましくないと考えており、国の核燃料サイクルの中で回していかなければならず、国の責任において取り組んでいただきたいと思っています。

(山陰中央新報)この回答は、市として回答期限を設けられていますか。

(上定市長)明確な期限はないですが、可及的速やかに回答はいただきたいです。

(山陰中央新報)今回の要請に対する回答は再稼働の可否を考える中での判断材料の一つで、住民投票条例の直接請求で条例の意見を考える際の判断材料の一つではないという認識でよろしいですか。

(上定市長)あくまで島根原発2号機の再稼働についての住民投票の条例設置の請求に対する判断ですので、関係がないとまでは言えませんが、提出から20日間の中で判断しなければならないので、その中で判断をしていくということだと考えています。

(山陰中央新報)中海スポーツパークですが、なかみスカイポートとは一切かぶらないような形ですか。

(上定市長)そうですね、敷地としてはかぶらないです。

(山陰中央新報)イメージ図を見るとサッカー場だと思いますが、例えばJリーグの公式戦が開催できる仕様ですか。

(上定市長)公式戦が開催できる規模を確保することを取りあえず目指して予算要求をしているところですので、状況次第でどう使えるかということについても検討を進めていきます。

(山陰中央新報)観客席のようなものはどういう感じになりますか。

(上定市長)粗写真として描いているものはありますが、最初からサッカー場を造るということを前提としているわけではなくて、あくまで多目的広場ということで防衛省と協議しているところです。今、サッカー場の形になっているのは一番最大を考えたときに、サッカーにも利用できるということになります。今後の利用の仕方は工夫の余地があると思いますので、市民の皆さんに使っていただけるような場となるようにしたいと考えています。

(山陰中央新報)多目的広場というのは、サッカー、グラウンドゴルフ、のほかに何か想定されていますか。

(上定市長)子どもたちに遊んでもらえるような場所にしたいと思っています。どのように利用していくのかがいいのかは、近くにお住まいの方、スポーツ少年団、また2030年に国民スポーツ大会もありますので、松江市全体で見たときにどう使っていくのかがいいかということを考えていきたいです。

(山陰中央新報)防衛省の補助金ということですが、防衛省の何の補助金になりますか。

(上定市長)緊急時に避難ができる防災の拠点整備というメニューです。

(山陰中央新報) JR木次線への「あめつち」の導入のことについて伺います。島根県、雲南市、奥出雲町は受け入れる考えを示していますが、松江市としてはどのようなお考えですか。

(上定市長) 木次線は宍道を通っていますし、もともとトロッコ列車の存続についても周辺市の総意として要望しています。その状況の中で、「あめつち」が木次線にということは一つの策ではあるかなという見方をしております。県が主導する形になると思いますが、将来に向けて前向きに進めていく必要があるという認識は持っています。

(山陰中央新報) 受け入れるお考えということでしょうか。

(上定市長) JRから提示された案というのを基本にして考えていくということだと思っています。

(読売新聞) 出雲市が住民税の非課税世帯等に対して、国による10万円支給に加えて独自で1万円を加算して計11万円を支給されるということなのですが、松江市でそういった独自の措置を検討しておられますか。

(上定市長) 住民税非課税世帯への給付金について、国より一歩踏み込んだ形は考えておりません。新型コロナウイルス感染症対策を幅広く捉えたときに、どういった形がいいのかというのは予算編成等もございまずので、松江市ならではの支援策を検討していきたいと考えています。

(読売新聞) 来年度当初予算もまとまりつつあると思いますが、どのくらいの規模になりそうですか。

(上定市長) 今、調整中ですので、また皆さんにはご説明をしたいと思います。

(読売新聞) まん延防止等重点措置が適用されてから、初の定例会見ということで、改めて飲食事業者等へのメッセージをお願いできますか。

(上定市長) 蔓延防止等の措置が取られていますので、飲食業にかかわらず苦境に立たされている方も多いいと思います。そういった方の意見をしっかり聞いて、今後の予算編成等につなげていくことが重要と思っておりますので、ぜひそういった声を市役所のほうに届けていただきたいです。特に飲食店の方は県からの協力金がございますので、対象になるかを確認いただいて、速やかな申請をしていただければと考えています。

(読売新聞) 中海スポーツパークの総事業費が7億5,200万円とありますが、補正予算を計上されますか。

(上定市長) 国からの補助が前提ですので、4月に結果が出ますので、来年度に予算を組み立てるといふこととなります。

(読売新聞) こういう方針で国と調整中ということを発表いただいた形で、まだこの防衛省からの補助金が決定した段階ではないわけですね。

(上定市長) 4月に決まる予定ですので、それを踏まえてまた皆さんにお知らせします。

(山陰中央新報) 中海スポーツパークについて、早ければ令和4年度の6月補正での予算計上になりますか。

(上定市長) 現段階では決まっておりませんが、早めに予算をつけて着工してとは考えています。

(山陰中央新報) 中心部に総合運動公園とかある中で、上宇部尾に多目的広場を設ける狙いはいかがですか。

(上定市長) 敷地の有効活用という面と、補助の対象となる場所としてここが適地だったということもあります。今回、防災の拠点整備という観点とスポーツ振興ということで、松江市にとって貴重な機会だと思っています。採択された場合にどのような形にしていかも、市民の皆さんと一緒に考えていきたいと考えています。

(山陰中央新報)この敷地は市有地ですか。

(上定市長)市有地ですね。

(山陰中央新報)現在、国と調整中ということですが、採択が決まったタイミングや事業が動き出す時点ではなく、今の段階で発表されたのはどのような思いがあってですか。

(上定市長)この計画については、平成30年度からいろいろ調整をしており、市民の皆さまにもご期待いただいていた。当時は内閣府の交付金が残念ながら採択されませんでした。期待の声にお応えするには財源面が一番重要なものですから、予算措置がなされるよう調整し、このような形になりましたのでご報告をさせていただきました。

(山陰中央新報)競争率は高いですか。

(上定市長)それについては何とも言えませんが、中海周辺の地域振興という点で非常に意義があるプロジェクトですので、採択いただきたいと思っています。

(山陰中央新報)同じ場所での平成30年度の多目的広場の計画は交付金がつかず、その後も住民からの要望や、スポーツ振興、地域振興などの観点から検討を重ね、今回有利な財源を申請し判断を待っているという形ですか。

(上定市長)そのとおりです。

(毎日新聞)昨日、原発関連で直接請求があり、それに関して先々週ぐらいの予定では市民団体と市長との面談が予定されていたと思います。今後改めて時間を設けて面談し判断材料の一つとするというお考えはありますか。

(上定市長)私が面談はしていませんが、市の担当者が面談し、その際に市長に伝えてほしいということは私のほうに届いていますので、改めて機会を設けることは考えていません。

(朝日新聞)コロナのワクチン接種ですが、モデルナを避けたいというような動きがありますが、集団接種はモデルナ社製のみということですか。

(上定市長)その予定にしております。

(朝日新聞)個別接種についても、3月下旬以降はファイザーかどうか分からないということですか。

(上定市長)その予定です。

(朝日新聞)他の自治体ではなかなか予約が進まないようなこともあります。松江市の予約状況はいかがですか。

(上定市長)当初の見込みよりも低調とまでは言いませんが、少なめな印象はあります。ワクチンの3回目の接種についての広報ということで、今日もこの場を設けさせていただいたところです。

(朝日新聞)集団接種がモデルナということで、予約が低調ということではないということですね。

(上定市長)直接の関連性があるとは捉えてないです。接種券と一緒に厚生労働省からの説明文もお送りしていますので、それをお読みいただきご自身で判断していただきたいと思います。

(中国新聞)経産省への要請の位置づけとして、原発の再稼働の有無にかかわらず国には取り組んでもらう一方で、再稼働の判断の材料とされるということですが、再稼働の判断を松江市としてするに当たって、今回改めて確認の要請をされたということではよろしいですか。

(上定市長) 再稼働の判断において、一つの材料となるものだと考えています。

(中国新聞) その回答の有無、時期を含め総合的に判断されるということですか。

(上定市長) おっしゃるとおりです。その他の要素も含めて、総合的に判断していくことになります。特に住民投票の場合には提出から20日間以内に意見を付してということですので、手続的に進めていく必要が当然ありますし、その判断についても材料をできるだけ集めて総合的に判断を下していくということになります。

(中国新聞) 先日、島根半島・宍道湖・中海ジオパークの初めての再審査があって、無事再認定という結果が出ました。市長が直接電話を取られたとお聞きしていますが、改めて受け止めをお願いします。

(上定市長) 島根半島・宍道湖・中海ジオパークは2017年の12月に認定を受けまして、今回初めての再認定審査を受けました。昨年の松江市での全国大会は残念ながらオンラインでの開催とはなりましたが、全国の方にも知っていただくいい機会になりました。そのタイミングで審査がありましたので、我々も全国大会に向けて、さらにその先にある再認定審査に向けてモチベーションを高く取り組むことができたと思っています。その努力が報われる形で再認定していただき、非常にうれしく受け止めております。特に事務局になっている出雲市、島根大学、松江市で一緒に取り組んだ成果だと考えております。持続的にジオパークとしての評価をいただけるよう、他の日本ジオパークとのネットワークもうまく活用しながら、ジオパーク活動自体をもっと活発化していくことができればと考えています。

(読売新聞) 経済産業省に要請された文書は公開されますか。

(上定市長) 後ほど公開します。

(NKT) まん延防止等重点措置の適用からあさってで1週間です。県では感染者が少しずつ減ってきていますが、松江市では2桁が続いている状況をどう捉えていらっしゃいますか。

(上定市長) 何か正確な現状分析ができるものではないですが、松江市の場合30人を超えているときがありましたので少し落ち着いたように見えるかなというところはあります。ただ、油断は禁物だと思いますので、できるだけ速やかに収束するように市としても注視してまいりたいと考えております。さらに感染が確認された方の年代を見ますと、いずれかの年代に偏っていることはなく満遍なく感染が確認されていますので、引き続きあらゆる世代において注意を払っていくという必要があると認識しています。

(NKT) 飲食店については、休業しているところが松江市内でも多く、経済対策が必要だと思いますが、その辺はいかがですか。

(上定市長) 協力金なども踏まえて、状況を確認した上で必要な施策を講じていくということにしております。

(山陰中央新報) ワクチンについてですが、ファイザー製のワクチンが春以降減少していくという話もありましたが、その中で交差接種も必要になってくると思います。それに対して、市民に安全性を広くお知らせするような施策はお考えでしょうか。

(上定市長) そういったことができればいいですが、市としてモデルナ製とファイザー製と比べたときや、交差接種をしたときの分析というのが独自では難しく、ここは厚生労働省から必要な情報を入手できたら皆さんに分かりやすく説明をするということにしていきたいと考えています。

(NHK) そのほかございませんでしょうか。なければ、これで定例会見を終了します。ありがとうございました。

(上定市長) どうもありがとうございました。